



すぎなみ 環境ネットワークだより

URL <http://www.ecosuginet.jp/>

すぎなみ環境ネットワーク事務局 〒167-0051 杉並区荻窪 5-15-13 TEL 03-5347-2255
 あんさんぶる荻窪 4F 環境情報館内 FAX 03-5347-2299
 杉並区リサイクルひろば高井戸 〒168-0072 杉並区高井戸東 3-7-4 TEL 03-3331-4360
 FAX 03-5336-7351

..... 環境博覧会すぎなみ 2009

すぎなみ環境ネットワークの取り組み

環境博覧会すぎなみ 2009は、10月17日(土)、18日(日)に高井戸地域区民センターとセンター前ひろばで開催されました。

テーマは

みんなでつくる環境世紀
 地球を救え すいなみ省エネ作戦
 ~小さなエコから~

テーマ実現に向けて、すぎなみ環境ネットワークが同時開催した取り組みをご報告します。

第15回

かんきょうアイデア展開催

「環境博すぎなみ」より歴史は長い「かんきょうアイデア展」の今年は？

DRS

ディッシュ・リユース・システムの実施と課題

「環境博すぎなみ 2001」でデビューして、9年。その活動の成果は？

環境博覧会すぎなみ

第1回は、2001年。以来、環境博覧会すぎなみ実行委員会と杉並区の共催で高井戸地域区民センターとセンター前ひろばで開催されてきました。今回の来場者数は18,000人でした。これは区民が環境について考える機会をもつ区内最大の催しです。杉並清掃工場の立替えなどにより来年度は開催されない見込みです。

リサイクルひろば高井戸で

開催したその他の催し

- ・リユース家具・衣類などの販売
- ・裂き織り、アクリルたわし作り
- ・廃油から石けん作り
- ・リメイク講座作品展示
- ・おもちゃのクリニック など

第15回

かんきょう アイデア展

杉並区リサイクルひろば高井戸で作品展と表彰式を行い、
受賞作品を あんさんぶる荻窪、区役所口ビーで展示しました。
来年は、あなたもぜひ応募してください。

選考委員会から

今年は96点の応募がありました。
「リサイクルアイデア作品部門」に57人から66点の作品、また「レポート部門」は29人から29点、「自然の恵み部門」1点でした。
作品とレポートを合わせて小学生79人の参加があり、4年生21人、5年生11人、6年生21人と高学年の参加は嬉しいことでした。

楽しく遊べる道具やマイバッグ、そのほかそれぞれに不用品を活かした工夫に目を見張るものがあります。

また、8人の大人の作品はどれも物を慈しむ温かい心があふれ、見る人たちに感動を与えてくれます。なお、各賞の選考はすぎなみ環境ネットワーク会員の推薦票を参考に、普及啓発委員会が行いました。



★区長賞「ココロゲーム」作品部門
井餘田 笙悟（杉並第九小6年）

★教育長賞「藍染め図鑑」レポート部門
高島 史帆（杉並第九小4年）



★理事長賞「マイバッグ（3点）」
作品部門 野口 寿々



★今度はお湯を沸かしてみま賞★
「ソーラークッカー」 レポート部門
花守 俊憲 (東田小 6年)

★ゴーヤでおいしかったで賞★
「緑のカーテン」
自然の恵み部門 八島 暁子



★分ければ資源になるで賞★
「リサイクルしてみました」 レポート部門
山本 葵 (済美小 6年)

★前向きに 25%へ切り替えま賞★
「環境がたいへんだ！」 レポート部門
鈴木千学 (高井戸小 4年)



★元気いっぱい賞★
「足うらマッサージ」 作品部門
斉藤 耀成 (松ノ木小 2年)



★とても似合うで賞★
「帽子」 作品部門
山下 有美



★これでお出かけしま賞★
「帽子・ポシェットなど 5点」
作品部門 日澤 花子

★秋の芸術で賞★
「古布からネクタイ 3本」
作品部門 佐久間 裕子



★オリンピックを目指しま賞★
「野球ゲーム」 作品部門
木田 龍太 (高井戸小 4年)

DRS

ディッシュ・リユース・システムの実践と課題

このシステムは、イベント会場で洗って再利用する食器を使い、「ごみを出さない」、「使い捨てを見直す」目的で実践されています。

環境博すぎなみ第1回から実施。今回の環境博でのリユース食器利用は大幅に減り、大皿 800 枚、どんぶり と小鉢で 800 個、コップ 850 個などでした。

本来会場内飲食用の使い捨て容器も使われ、その使い捨て容器がごみ箱にあふれました。ごみを出さない計画を一部の出店者と共有できなかったことが原因であったと反省しています。

開会式では区長のご挨拶で「ごみゼロをめざす杉並区」を目標としてあげられましたが、実践場面で課題を残しました。主催者側と利用者の双方が「ごみを出さない」ことを真摯に受け止めなければ実現不可能な夢のままになります。今後は、このシステム運営の見直しと使い捨て容器の再検討も必要と考えます。皆様に一層のご理解をいただけるようPRにも力を入れていきます。ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

DRS は、環境ネットワークの自主事業です。高校生をはじめとするパワフルな若者と長い人生経験をもつ人々が協力しての作業。スタッフは全員ボランティアです。



DRS 作業用テントのスタッフ



朝のスタッフミーティング



使ったお皿は、まず自分で下洗い

リサイクルひろば高井戸のリユース家具や衣類の販売も好評でした。

同時開催した体験講座をご紹介します。



アクリルたわし作り



廃油から石けん作り



裂き織り体験コーナー



リメイク講座作品展示（作務衣）